

■ 日本女子体育の母

井口 阿くり

いのくち あくり

出身地 秋田市

1870年（明治3年）～1931年（昭和6年）

東京女子高等師範学校教授、文部省体操遊戯調査委員。スウェーデン式体操の理論と実践を指導し、女子体育を定着させた。宮内省御用掛として、皇女2人の体操教育を担当する。著書に『各個演習教程』がある。



年譜

- 1870年 秋田市に生まれる。1910年、藤田姓となる。
- 1892年 女子高等師範学校卒業。
- 1901年 アメリカ・ボストン大学体育師範学校入学。
- 1903年 ヨーロッパ視察。女子高等師範学校で国語体操専修科の主任教授。スウェーデン式体操を普及。
女子運動服を創案。『各個演習教程』刊行。
- 1904年 文部省の体操遊戯調査委員会委員。
- 1909年 宮内省御用掛となり皇女の教育係。体操指導。
- 1925年 東京高等実習女学校を創立。校長となる。
- 1931年 東京都で没。60歳。